

補生の先輩たち!



PROFILE

航空自衛隊
中部航空警戒管制団
空士長

浅尾 俊介

自分を信じて頑張れば
夢が叶います

私は、東日本大震災での隊員の活動する姿に感動し、入隊を決めました。現在は基地内外の建築物の修繕・保持が主要任務です。実は入隊前は体力に自信がなかったのですが、努力することで自衛官になる夢が叶いました。また、入隊後、訓練などで体力を向上させることができました。皆さんも自分を信じて努力すれば大丈夫です。自衛官になる夢を応援しています。



PROFILE

海上自衛隊
護衛艦あまぎり
海士長

薬師寺 克則

一生の仕事にしたいなら
一般曹候補生

私が一般曹候補生を選択したのは、定年まで勤務でき、「海曹」へ昇任する近道という点に魅力を感じたためです。自衛官は国や国民を守るやりがいのある職業だと思います。一生の職業として勤務を希望する方には、是非一般曹候補生をおすすめします。

※階級・所属は撮影当時のものです。

自衛官募集(一般曹候補生)ホームページ

インターネットからも応募できます
詳しくは自衛官募集ホームページへ



自衛官募集ツイッター



防衛省関係ホームページ

- 防衛省 <https://www.mod.go.jp/>
- 陸上自衛隊 <https://www.mod.go.jp/gsd/>
- 海上自衛隊 <https://www.mod.go.jp/msdf/>
- 航空自衛隊 <https://www.mod.go.jp/asdf/>

もっと詳しく知りたい、疑問や不安を解決したい...など
興味を持ったらずはお近くの地方協力本部へ!

自衛隊地方協力本部(地本)とは? ちほん 地方協力本部ホームページ
自衛隊に関する受験、見学、質問、相談等の窓口です。現役自衛官がお話を伺います。全国各地にありますので、是非お近くの地本へお気軽にお問い合わせください!



●お問い合わせは下記の自衛隊地方協力本部へ



自衛隊 一般曹候補生 採用案内

18歳以上33歳未満



「平和を創る仕事」を一生のやりがいに。

一般曹候補生
3つの
ポイント

POINT 01

一般曹候補生とは
「中堅リーダー」
への近道

18歳以上33歳未満の方を対象に、陸上・海上・航空各自衛隊の中核となる自衛官を採用する制度です。

POINT 02

定年まで活躍する
非任期制自衛官

一般曹候補生は2~3年で任期を更新する自衛官候補生とは異なり、自分の能力や志向に合わせて知識と技術を高めながら、定年まで自衛官として勤めることができます。

POINT 03

特別職国家公務員※
としての身分

安定した処遇と各種手当のほか、制服・作業服・食事なども支給または貸与されます。

※特別職国家公務員とは内閣総理大臣や国務大臣、裁判官及びその他の裁判所職員と同じ分類に属します(警察官や消防士は該当しません)。

一般曹候補生

PROFILE

陸上自衛隊
第20普通科連隊第4中隊
3等陸曹

松木 光寿

大変だけど
やりがいのある仕事

私は、小銃小隊の小銃手として勤務しており、普段は、さまざまな事態に対応できるよう訓練に励んでいます。自衛隊は、努力することで直接評価につながり、やりがいや達成感を感じられる仕事です。また、その達成感から自分に自信が持てるようになりました。



詳しくは「もちろから」

一般曹候補生のキャリアステップ

一般曹候補生は応募資格年齢が18歳以上33歳未満。高校新卒者から社会人経験者まで、多様な経歴を持った人材が入隊します。教育・育成カリキュラムが陸海空自衛隊ごとに整備されており、自衛官の基礎知識はもちろん、専門的な技能まで身につけることができます。また、明確なキャリアシステムにより、幹部への道も拓けています。



自衛隊の主な職種・職域

自衛隊には、さまざまな職種・職域があります。国防の第一線に立つだけでなく、事務作業や隊員のサポートを行うなど、個人の適性に応じて選択することができます。



待遇・福利厚生

隊員が安心して勤務できるよう、さまざまな福利厚生や各種手当を完備。特別職国家公務員としての待遇が整っています。

POINT 1

給与サポート

自衛官という勤務の特殊性を考慮した給与や、さまざまな手当を完備しています。

- 初任給 184,300円(高卒) ※初任給は、学歴・職歴等により異なります。193,900円(大卒) ※大卒者の初任給は、複数年かけて202,700円まで引き上げられる予定です。
- 昇給 年1回
- その他諸手当 期末・勤勉手当(6月・12月)、扶養手当、通勤手当、単身赴任手当、住居手当、地域手当、航海手当、乗組手当、航空作業手当、航空手当、災害派遣手当など
- 勤務地 各都道府県の駐屯地又は基地など
- 勤務時間 8:15～17:00(地域差あり)
- 休日・休暇 週休2日制、祝休日、年末年始休暇、夏期休暇、年次有給休暇(年間24日)など
- 保険 団体生命保険、団体医療保険、団体傷害保険、団体年金保険、火災・災害共済、生命・医療共済

POINT 2

衣・食・住の手厚いサポート

自衛隊では制服等の支給・貸与、営舎内居住の隊員に対する食事の支給を行うため、出費を最小限に抑えることが可能です。隊員の生活サポートを全面的に行います。

取得機会のある多彩な資格

- 車両関係** 自動車整備士(1～3級) / 大型自動車運転免許(1種)(自衛隊以外の大型自動車運転には限定解除が必要) / 大型特殊運転免許 / けん引免許
- 船舶関係** 小型船舶操縦士 / 潜水士
- 航空関係** 航空管制官 / 航空無線通信士
- 医療関係** 救急救命士 / 准看護師 / 臨床検査技師 / 診療放射線技師
- その他** 危険物取扱者(乙種第4種) / 公害防止管理者(第1～4種) / ガス溶接(アーク溶接)技能者・2級ボイラー技士 電気工事士 / パソコン検定(3・4級) / 英語検定(2・3・4級) / ワープロ検定(3・4級) / 情報処理(1・2級) / 調理師免許 / 栄養士

一般曹候補生になるには

筆記試験や適性検査が行われます。受験にあたっては、志願票を最寄の地方協力本部へ提出又はインターネット応募サイト(自衛官募集ホームページ)での申し込み、いずれかの方法で受験手続を行ってください。

- 応募資格 日本国籍を有する18歳以上33歳未満の者
- 試験科目 1次 筆記試験及び適性検査
2次 口述試験及び身体検査
- 試験会場 各都道府県に所在する自衛隊地方協力本部ごとに、1か所以上の試験会場を設置

※ 採用試験に関する詳しいことは、採用要項又は自衛官募集ホームページをご確認ください。

自衛官募集ホームページ

<https://www.mod.go.jp/gsdf/jieikanbosyu/>